

病害虫防除指導報

No.358

令和7年4月号

発行

秋田県農業共済組合
中央支所

1. 移植時のいもち病防除について

本田のいもち病防除

いもち病の本田防除剤には育苗箱施用剤、側条施用剤、水面施用剤があるのでいずれかを選択して下さい。

①【育苗箱施用剤】

| 農薬名 | 農薬の種類 | 使用時期 | 箱当たり散布量 [散布液量] |
|-------------|--------------|-------------------------|-------------------|
| アプライ箱粒剤 | チアジニル粒剤 | 床土混和又は播種時 (覆土前) | 50g |
| ファーストオリゼ箱粒剤 | プロベナゾール粒剤 | | 25～50g |
| ブーン箱粒剤 | ジクロベンチアゾクス粒剤 | 床土混和又は播種時 (覆土前)～移植当日 | 50g |
| ルーチン粒剤 | イソチアニル粒剤 | | 25～50g |
| ブイゲット箱粒剤 | チアジニル粒剤 | 緑化期～移植当日 | 50g |
| デジタル箱粒剤 | ピロキロン粒剤 | 移植3日前～移植当日 | 50g |
| ルーチンフロアブル | イソチアニル水和剤 | | 100倍液 [500mL] |
| Dr.オリゼ箱粒剤 | プロベナゾール粒剤 | | 25～50g |

育苗箱施用剤による防除の注意点

- ア. ポット用育苗箱では使用しないで下さい。
- イ. 箱当たり散布量が25gとして使用可能なのは、10a当たりの使用育苗箱が20箱以上の場合です。
- ウ. 高密度播種は、育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾粕として200～300g程度播種する場合とし、薬剤の処理時期は移植3日前～移植当日として下さい。
- エ. 復元田等では土壌の窒素供給量が多くなり、稲体のいもち病に対する抵抗性が低下するおそれがあります。このような場合での箱当たり散布量は50gにして下さい。
- オ. アプライ箱粒剤、ファーストオリゼ箱粒剤、ブーン箱粒剤又はルーチン粒剤はベンレート水和剤と播種時に同時に使用できます。

②【側条施用剤】

| 農薬名 | 農薬の種類 | 使用時期 | 散布量 | 備考 |
|--------------------|-------------------------|------|-------------|-----------------------|
| オリゼメート顆粒水和剤 | プロベナゾール水和剤 | 移植時 | 250g/10a | ペースト肥料用 |
| 側条オリゼメートフェルテラ顆粒水和剤 | クロラントラニリプロール・プロベナゾール水和剤 | | 500g/10a | |
| 側条オリゼメートリディア顆粒水和剤 | フルピリミン・プロベナゾール水和剤 | | 500g/10a | |
| ツインターボ顆粒水和剤 | クロチアニジン・イソチアニル水和剤 | | 100g/10a | 粒状肥料 |
| コープガードD12 | プロベナゾール複合肥料 | | 20～50kg/10a | |
| コープガードW12 | イミダクロプリド・プロベナゾール複合肥料 | | 20～50kg/10a | |
| コープガードD一発664 | プロベナゾール複合肥料 | | 40～50kg/10a | |
| オリゼメート粒剤20 | プロベナゾール粒剤 | | 1 kg/10a | 移植同時施薬機を用いて側条施用して下さい。 |
| スタウトダントツ箱粒剤 | クロチアニジン・イソチアニル粒剤 | | | |

| | | | | |
|----------------------------|--------------------------|-----|----------|-----------------------|
| スタウトパディート箱粒剤 ルーチンパンチ箱粒剤 | シアントラニリプロール・イソチアニル粒剤 | 移植時 | 1 kg/10a | 移植同時施薬機を用いて側条施用して下さい。 |
| デジタルミネクト箱粒剤 | シアントラニリプロール・ピロキロン粒剤 | | | |
| 箱大臣粒剤 | クロチアニジン・イソチアニル・フラメトピル粒剤 | | | |
| ブーンパディート箱粒剤 | シアントラニリプロール・ジクロベンチアゾクス粒剤 | | | |
| Dr.オリゼパディート粒剤 | シアントラニリプロール・プロベナゾール粒剤 | | | |
| Dr.オリゼフェルテラ粒剤 | クロラントラニリプロール・プロベナゾール粒剤 | | | |
| Dr.オリゼリディア箱粒剤 | フルピリミン・プロベナゾール粒剤 | | | |

側条施用剤による防除の注意点

- ア. ペースト肥料用側条施用剤は、ペースト肥料との混和が悪いと効果が劣るので、別容器(タンク等)に肥料と農薬(同重量の水に溶かしてから)を入れて十分攪拌してから使用して下さい。調査は移植当日に行い、調査したものはその日のうちに使用して下さい。施肥深度が3～7cmの側条施用又は2段施用で使用して下さい。移植の際、土壌が硬く、施肥溝がふさがらない時は防除効果の劣る場合があります。
- イ. スタウトダントツ箱粒剤、スタウトパディート箱粒剤／ルーチンパンチ箱粒剤及び箱大臣粒剤は推奨しない施薬機があるので使用前に確認して下さい。

③【水面施用剤】

| 農薬名 | 農薬の種類 | 散布時期 | 散布量 |
|----------|-----------|-----------------|----------|
| オリゼメート粒剤 | プロベナゾール粒剤 | 6月15日頃(6/12～18) | 2 kg/10a |
| ルーチン粒剤 | イソチアニル粒剤 | | 1 kg/10a |

水面施用剤による防除の注意点

- ア. 湛水状態で田面に均一に散布し、散布後4～5日間は水を入れしないで下さい。また、周辺環境に配慮し、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。
- イ. かけ流し田では効果が低下します。

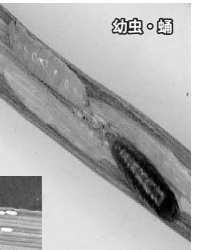
その他の留意点

- ア. 育苗期間に1個でも病斑が認められた場合は、同一育苗施設の苗は移植しないで下さい。
- イ. 余り苗は発病しやすく伝染源になりやすいので、放置せず直ちに泥に埋めて処分して下さい。
- ウ. 密植は発病を助長するため、適正な栽植密度として下さい。

2. 水稲初中期害虫の防除について

イネミギワバエ(イネヒメハモグリバエ)の防除

主に老熟幼虫、一部は蛹で越冬し、羽化した成虫が移植後の稲に産卵します。産卵は水面に垂れて浮かんだ葉に多く行われるので、深植えや移植後の深水は産卵を誘発します。被害は沿岸部で多い傾向があり、5月下旬～6月上旬に急激に現れるため、防除が手遅れになりやすいので注意して下さい。前年被害が大きかった場合は、裏面の【表】の育苗箱施用剤で防除して下さい。育苗箱施用剤を使用しなかった場合で産卵数が多い時は、茎葉散布剤や水面施用剤で防除を行って下さい。



イネミギワバエ
(イネヒメハモグリバエ)

イネミズゾウムシ・イネドロオイムシ(イネクビボソハムシ)の防除

イネミズゾウムシは山林や畦畔等で越冬し、移植後に水田に侵入します。畦畔沿いに食害が多く、食害が激しい場合は生育が抑えられて減収します。育苗箱施用剤、育苗箱かん注剤、側条施用剤による防除は前年6月の食害株率が90%以上となった場合に行って下さい。また、水面施用剤による防除は6月上旬に越冬後成虫が0.3頭/株(食害株率90%以上に相当)以上の場合に行って下さい。イネドロオイムシは早植えや生育がよい水田で産卵が多く、山間、山沿地や風当たりが少ない水田で被害が大きくなります。6月上～中旬に1株当たりの卵塊数が0.5を超える場合は茎葉散布剤で防除を行って下さい。



イネミズゾウムシ



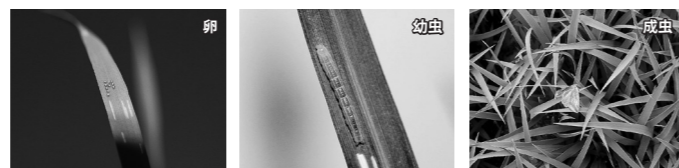
イネドロオイムシ(イネクビボソハムシ)

イネキモグリバエ(イネカラバエ)の防除

山沿いや山間地での発生が多い傾向があります。本種はイネ科雑草の茎の中で越冬するため、6月上旬までに畦畔の除草を行って下さい。被害が心配される地域やほ場では、グランドオンコル粒剤50g/箱を移植当日に処理するか、リディア箱粒剤50g/箱を移植3日前～移植当日に処理し防除を行って下さい。

フタオビコヤガ(イネアオムシ)の防除

多肥田や葉色の濃い水田で発生が多くなる傾向があるので注意して下さい。第2、第3世代幼虫による被害が局所的に多発することがあります。前年多発したほ場では育苗箱施用による防除を選択して下さい。



フタオビコヤガ(イネアオムシ)

斑点米カメムシ

類(アカスジカスミカメ)対策の水田内除草について

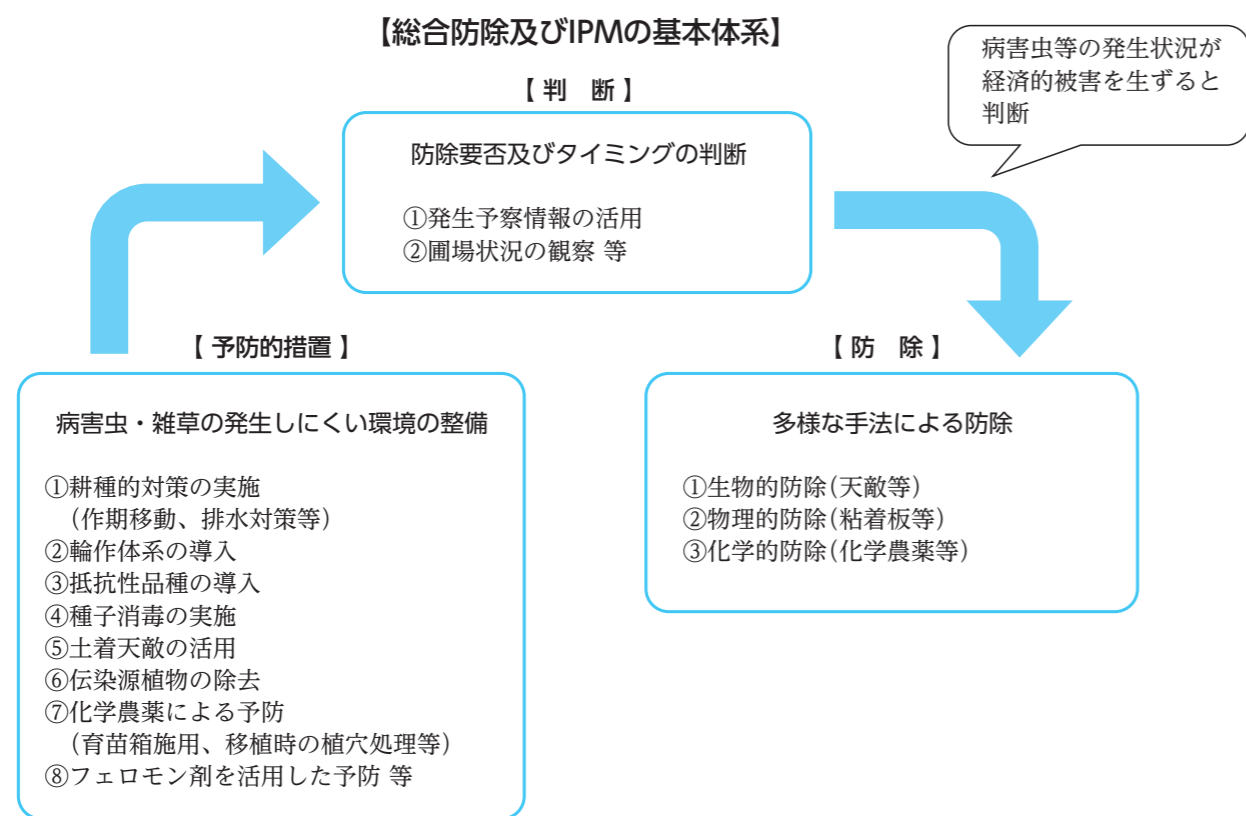
本県の主要な加害種はアカスジカスミカメです。水田内にホタルイ等のカヤツリグサ科雑草やノビエ類が多発するとアカスジカスミカメが水田内へ侵入し、繁殖するため斑点米被害が甚大になります。そのため、水稲除草剤の適正使用により水田内の除草を徹底して下さい。一発処理除草剤を単用する場合は代かき日から10日後までを目安に散布して下さい(ただし、ラベルに記載された使用時期に従って下さい)。



斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ)

3. 総合防除について(総合防除の基本体系について)

「総合防除」は、IPM(総合的病害虫・雑草管理: Integrated Pest Management)と考え方は同じであり、予防・判断・防除の各段階において、利用可能なあらゆる選択肢の中から経済性を配慮しつつ、適時に適切な方法を選択して実施するものです。その内容は、①予防的措置(病害虫・雑草の発生しにくい環境の整備)、②判断(防除要否及びタイミングの判断)、③防除(多様な手法による防除の実施)であり、新たな科学的知見や先進的な防除技術も活用しながら、「予防・予察」に重点を置くことを基本とした考え方です。



秋田県総合防除計画が、令和6年11月に策定・公表されています(<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/4233>)。病害虫防除を実施する際は、上記や秋田県総合防除計画を参考に化学合成農薬のみに頼らない防除に努めて下さい。

【表】水稲(移植)用農薬使用基準及び適用病害虫一覧

| 農薬名 | 散布量又は希釈倍数[散布液量] | 使用方法 | 散布時期 | いもち病 | イネミギワバエ | フタオビコヤガ | イネミズゾウムシ | イネドロオウムシ |
|--|--------------------|------|---------------|------|---------|---------|----------|----------|
| アドマイヤー顆粒水和剤 | 500～1000倍 [0.5L/箱] | 灌注 | 移植2日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| アドマイヤーCR箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| 稲大將箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | |
| 稲名人箱粒剤 [スタウトアレス箱粒剤 スタウトバディート箱粒剤 ルーチンパンチ箱粒剤] | 50g/箱 | 箱施用 | は種前 | | ○ | | ○ | |
| | | | は種時(覆土前)～移植当日 | | ○ | | ○ | |
| | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | ○ |
| オンコル粒剤5 | 40g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | |
| ガードナーフロアブル | 100倍 [0.5L/箱] | 灌注 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | ○ | ○ |
| ガゼット粒剤 | 40g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | |
| グランドオンコル粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | |
| | | | 移植当日 | | ○ | | ○ | |
| スタウトダントツ箱粒剤 | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | |
| ゼロカウント粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植当日 | | ○ | | ○ | ○ |
| ダントツ箱粒剤 | 25～50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| ダントツ粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| ダントツ水溶剤 | 200～400倍 [0.5L/箱] | 灌注 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| デジタルコロトップアクタラ箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| デジタルミネクト箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | ○ | ○ |
| | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | |
| 箱大臣粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | ○ |
| バス顆粒水和剤 | 1000倍 [0.5L/箱] | 灌注 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| バディート箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | は種前 | | | | ○ | ○ |
| | | | は種時(覆土前)～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| | | | 移植当日 | | ○ | | | |
| バリアード箱粒剤 | 25～50g/箱 | 箱施用 | 移植2日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| ファーストオリゼバディート粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | は種時(覆土前) | | ○ | | | |
| ファーストオリゼリディア粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | は種前 | | | | ○ | ○ |
| | | | は種時(覆土前) | | | | ○ | ○ |
| ブイゲットグランドオンコル粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | | |
| ブイゲットフェルテラ粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | | |
| ブーンバディート箱粒剤 | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | |
| フェルテラ箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | は種前 | | | | ○ | ○ |
| | | 箱施用 | は種時(覆土前)～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| | | 箱施用 | 移植当日 | | ○ | ○ | | |
| プリンス粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | ○ | ○ |
| プリンススピノ粒剤6 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | ○ | | |
| コープガードW12 | 20～50kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | ○ |
| ツインターボ顆粒水和剤 | 100g/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | ○ |
| ミネクトフォルスターSC | 100倍 [0.5L/箱] | 灌注 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | |
| ミネクトプラスター顆粒水和剤 | 200倍 [0.5L/箱] | 灌注 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | |
| ヨーバル箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | は種前 | | | | ○ | ○ |
| | | 箱施用 | は種時(覆土前)～移植当日 | | ○ | | ○ | ○ |
| リディア箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | ○ | ○ |
| ルーチンアドスピノ箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | ○ | | |
| ルーチンバリアード箱粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| ワンリード箱粒剤08 | 50g/箱 | 箱施用 | は種前 | | | | ○ | ○ |
| | | | は種時(覆土前)～移植当日 | | | | ○ | ○ |
| Dr.オリゼバディート粒剤 | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | ○ |
| Dr.オリゼフェルテラ粒剤 | 50g/箱 | 箱施用 | 移植3日前～移植当日 | | ○ | | | |
| | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | ○ |
| Dr.オリゼリディア箱粒剤 | 1kg/10a | 側条施用 | 移植時 | ○ | | | ○ | |